様式１

観光地域づくり法人形成･確立計画

記入日：令和７年７月３１日

１．観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを〇で囲むこと	広域連携ＤＭＯ･(地域連携ＤＭＯ)･地域ＤＭＯ	
観光地域づくり法人の名称	（一社）やまがたアルカディア観光局	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 山形県長井市、南陽市、白鷹町、飯豊町、小国町（２市３町）	
所在地	山形県長井市	
設立時期	平成３１年２月１２日	
事業年度	４月１日から翌年３月３１日までの１年間	
職員数	13 人【常勤 12 人（正職員 6 人・出向等 4 人、地域おこし協力隊 2 人）、非常勤職員 1 名】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者） ※必ず記入すること	（氏名） 内谷　重治 （出身組織名） 長井市	代表理事。長井市長として 5 期目を迎え、行政のトップとして舵取りを行っている。山形鉄道㈱取締役会長、タスパークホテル長井代表取締役会長を兼任。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（ＣＭＯ：チーフ・マーケティング・オフィサー ※必ず記入すること	（氏名） 鷲見　孝「専従」 （出身組織名） 一般社団法人やまがたアルカディア観光局	商社マンとして、イタリアに 6 年在住した後、フェラガモ、エルメスジャポンなどの要職を歴任し、マーケティングについて、高い知見と能力を持つ。当法人の設立に大きく関わり、理事、戦略会議委員長として牽引してきた。令和 2 年に副理事長兼専務理事に就任し現在は副理事長を務めている。
財務責任者（ＣＦＯ：チーフ・フィナンシャル・オフィサー） ※必ず記入すること	（氏名） 平吹　美奈「専従」 （出身組織名） 長井市	長井市役所に入庁以来 24 年間行政事務に従事、令和 6 年 4 月 1 日から当法人に派遣勤務。財務分析と事業構築を行っている。
各部門（例：プロモーション）の責任者（専門人材） ※各部門責任者のうち専従の者につ	（氏名） 佐藤　啓「専従」 （出身組織名） 一般社団法人やまがたアルカディア観光局	当法人の前身地域 DMO「やまがた長井観光局」で 2018 年から 1 年勤務後、引き続き当法人に勤務。プロモーションの責任者として専門的に行っている。 （国内旅行業務取扱管理者）

いては、氏名の右横に「専従」と記入すること		
各部門（例：旅行商品の造成･販売）の責任者（専門人材）	（氏名） 沼澤　亨「専従」 （出身組織名） 一般社団法人やまがたアルカディア観光局	旅行会社で 19 年間勤務。当法人の前身地域 DMO「やまがた長井観光局」で 3 年勤務後、引き続き当法人に勤務。旅行商品造成、販売について高い能力を持つ。 （総合旅行業務取扱管理者）
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	長井市観光文化交流課（マーケティング・戦略会議・財政支援） 南陽市商工観光課（マーケティング・戦略会議・財政支援） 白鷹町商工観光課（マーケティング・戦略会議・財政支援） 飯豊町商工観光課（マーケティング・戦略会議・財政支援） 小国町産業振興課（マーケティング・戦略会議・財政支援） 長井市地域づくり推進課（地域公共交通・長井ダム水辺空間オープン化） 長井市建設課（社会資本整備） 山形県置賜総合支庁産業経済部地域産業経済課観光振興室（マーケティング・戦略会議） 国土交通省東北整備局最上川ダム統合管理事務所長井ダム管理支所（長井ダム水辺空間オープン化）	
連携する事業者名及び役割	長井市観光協会、（特非）南陽市観光協会、（一社）白鷹町観光協会、（一社）飯豊町観光協会、小国町観光協会（マーケティング、プロモーション、旅行商品造成）、長井商工会議所、南陽市商工会、白鷹町商工会、飯豊町商工会、小国町商工会（地域内の連絡調整）、本町通り商店街振興組合、長井中央商店街振興会、あら町商店会、高野町商店会、大町通り商店会、山形おきたま農業（協組）、長井西置賜菓子組合（地域内の連絡調整）、（一財）置賜地域地場産業振興センター（旅行商品造成）、山形鉄道㈱（二次交通、商旅行品造成・販売）、長井地区ハイヤー交通協議会（二次交通）、日本・アルカディア・ネットワーク㈱（マーケティング、プロモーション）、（特非）最上川リバーツーリズムネットワーク（旅行商品造成）、長井旅館組合、㈱長井観光、赤湯温泉旅館（協組）、（一財）白鷹町アルカディア財団、㈱飯豊町地域振興公社、おぐに白い森㈱、㈱エイコウ、山形座瀧波、㈲御殿守グランド、HOTEL SLOW VILLAGE、NIPPONIA 白鷹源内邸、長井あやめ温泉ニュー桜湯（宿泊・商品造成）、白鷹観光開発㈱、飯豊めざみの里㈱、㈲白い森よこね物産品直売所、㈲アグリメントなか（商品造成）、いいでカヌークラブ、㈲ソアリングシステム（商品造成・アクティビティ）、（一財）文教の杜ながい（商品造成・文化財）、㈱LABEL LINK、㈱アンド・ディ（マーケティング）、松田観光果樹園、山形県、長井市、南陽市、白鷹町、飯豊町、小国町、山形県置賜総合支庁産業経済部地域産業経済課観光振興室（マーケティング、プロモーション、旅行商品造成、戦略会議） **連携する事業者の役割** 理事会・戦略会議・専門部会において、上記事業者等が参画連携し、目標、戦略策定及びミッション、ビジョン、ブランディング等の決定、旅行商品開発催行、観光情報受発信、プロモーション、インナープロモーション、お土産品開発、誘客、二次交通など実施する役割を持つ。	
官民･産業間･地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	**【該当する登録要件】** ①「一般社団法人やまがたアルカディア観光局」は平成 31 年 2 月 12 日に 2 市 2 町で設立。当法人の役員（理事・監事）は、行政、観光協会、商工会、交通等幅広い関係団体の代表で構成されている。令和 3 年度からは 4 市町と同じ置賜地域に属する小国町を加えた 2 市 3 町の地域連携 DMO として構成。〔理事 21	

<table>
<tr><td></td><td>名、監事２名。社員総会（現在社員 79 名）を年１回、理事会を年４回開催〕
②民間と行政等の幅広いメンバーで構成する戦略会議、コアメンバー会議において情報を共有しながら連携を深め、戦略を立てている。また行政との連携調整についても、随時、行政担当課長会及び担当者会を開催し、情報共有及び将来を見据えた議論を行っている。〔戦略会議、コアメンバー会議それぞれ隔月１回開催。〕</td></tr>
<tr><td>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</td><td>〇季刊誌「アルカディア」の発行
　やまがたアルカディア観光局のミッション・ビジョン・ブランドコンセプト・ターゲットを明確化し、アルカディア地域の観光資源や歴史文化、地域で活躍している人にフォーカスするなど、アルカディア地域の魅力について発信し、季刊誌を活用したプロモーションを行った。令和５年度まで 19 号発行し、令和６年度に総集編を発行。
〇報告会、研修会・勉強会の開催
　令和２年２月、観光局の取組をアルカディア地域の住民に周知する「やまがたアルカディア展」を 15 日間開催。令和６年３月、アルカディア地域の魅力を再確認できる「やまがたアルカディア展」を６日間開催。各市町の各種団体等に対する講演等や、商店街や温泉組合員等を対象としたワークショップ・インバウンド勉強会等を開催。
　令和６年 11 月観光振興シンポジウム「四季折々の楽しみを満喫できる「アルカディア」の実現に向けて～地域づくりと観光振興の両立を目指して～」を長井市及び（一財）置賜地域地場産業振興センターと共催。立教大学観光研究所特任研究員　玉井和博氏と㈱八芳園代表取締役社長　井上義則氏の講演及びパネルディスカッション。
〇観光局ポータルサイトや SNS の活用、EC サイトの構築
アルカディア地域における魅力ある滞在型旅行商品や体験プラン等の紹介や、オリジナルのお土産品開発したものを情報発信し、EC サイトを構築して直接販売を行っている。その他専門部等のチーム活動紹介等や観光地域づくりの取組について情報発信を行っている。</td></tr>
<tr><td>法人のこれまでの活動実績</td><td>【活動の概要】
<table>
<tr><th>事業</th><th>実施概要</th></tr>
<tr><td>情報発信・プロモーション</td><td>・令和元～6 年観光ポータルサイト構築並びに多言語対応構築
・令和元～6 年国内外エージェント等への営業活動
アルカディア地域の魅力ある資源を活かした旅行商品等のプラン（団体や個人向け）について、近隣県や関東方面の旅行会社やバス会社等へタイアッププラン造成の依頼について営業実施。
・令和元～6 年インバウンド誘客事業台湾現地営業
　台湾の旅行会社にアルカディア地域の観光情報を共有し、台湾現地での営業等を依頼。令和３年台湾と山形置賜を結ぶオンラインツアーを実施。
令和元年及び５・６年に台湾への営業を実施、令和７年９月に台湾営業を予定。
・令和６年台湾で開催の「日本東北遊楽日」出展。
・令和 2～3 年オンラインツアー開催
　コロナ禍で旅行に行きたくても行けない状況の中で、オンラインでお客様と現地を結び、地酒や地元の物産を送って味わってもらい、コロナが収束後のリアルツアーに繋げる。
・令和 2～4 年ライク･ア･バード okitama プロジェクト</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

		現代のイザベラ・バードと言われるペルソナを想定したインフルエンサーに、アルカディア地域で活躍している女性たちに逢いに来てもらい、短編映像を WEB サイトや SNS で発信し、交流人口・関係人口増大に向けた取組を実施（ポータルサイト内で関係案内所を設置） 令和 4 年ライク・ア・バード okitama フォーラム・交流会・アフターツアー開催 ・令和 5 年駐日英国大使館、日本経済新聞社等へ「アルカディア郷山紀行」のプロモーションを実施。 ・令和 5 年欧米豪向けのツアー造成を行い、訪日外国人向け観光メディア「The Hidden Japan」での英語記事制作・掲載、YouTube での動画配信。 ・令和元年～6 年お土産品開発 OMIKI プロジェクト…酒蔵×世界的アーティスト×神社でオリジナル日本酒とワインを開発。アーティストには実際に地域に訪れてもらい、酒造りを体験することでラベルのデザインのアイディアを膨らませ、ラベルを製作してもらい、アルカディアでしか買えないお土産を作っている。アーティストのファンを通じて、情報発信をしてもらいながら、コロナが収束後に実際に訪れてもらえるような繋がりを持つ。 （令和 3 年 酒井ワイナリー+イラストレーター清水裕子氏） 令和 3～5 年 はちみつプロジェクト…エリアにフォーカスしたお土産品を開発。「三淵渓谷のはちみつ（春・初夏・夏）」、「十分一山のはちみつ（春・初夏・夏）」、「紅花畑のはちみつ（初夏・夏・秋）」。 令和 6 年三淵の「初夏」が「2024 ハニー・オブ・ザ・イヤー」（(一社)日本はちみつマイスター協会主催）において優秀賞を受賞。 令和 6 年「はちみつフェスタ」出展。 令和 3 年 アルカディア手ぬぐい…アルカディアエリアの旅の思い出を紡ぎ、地域と旅を繋ぐ手ぬぐいを開発 その他/アルカディア T シャツ/トートバック等のお土産品を開発し、プロモーション活動を展開。 令和 4～5 年 地域ブランディング型お土産品開発。令和 5 年～令和 6 年販売開始。 令和 5 年地域の魅力を詰め込んだ郷山のごっつぉ弁当開発。令和 6 年お披露目会を行い販売開始。 ・令和 5 年長井市中央地区コミュニティセンターの館長、部会員、職員の方々に向けて、当局の観光地域づくりについての説明及び意見交換会を実施。 ・令和 6 年 JR 東日本「地域再発見プロジェクト山形産直市」出展。 ・令和 6 年度八芳園運営企画「長井・タンザニア・ドイツクリスマスマーケット」出展。
	受入環境の整備	・令和元～6 年滞在型旅行商品造成 5 市町（令和 3 年から 5 市町）の観光関係者等と協議しながら、地域の観光コンテンツに磨きをかけ、ペルソナを想定した旅行商品の充実を図る。

		令和３年「東北ディスティネーションキャンペーン」が展開され、アクティビティを中心とした東北 DC 特別企画を準備し、受け入れの整備実施。 ・令和 2～4 年着地情報マップ製作 5 市町の広域マップを製作し、インバウンド対策に向けても、英語、繁体字のマップを製作。（令和 4 年は 5 市町広域マップ製作） ・令和 3～6 年山形鉄道フラワー長井線を活用した商品造成。令和 6 年は車両基地キャンプ、ビール列車、ラーメン列車等を催行。 ・令和 2～6 年長井ダム周辺の山岳､ダム観光拠点機能の整備 ・令和元～6 年季刊誌等の発行による地元向けプロモーション（季刊誌・ポスター・クリアファイル制作） ・令和元～3、5 年観光事業者等の研修（商店街、温泉組合、インバウンド受入施設向け） 令和３年地域の観光人材のインバウンド対応能力強化研修 ・令和 2 年蔵王エリア（他先進地地域）の視察 ・令和 3 年野川まなび館の管理運営業務を長井市より受託。長井ダム周辺アクティビティの拠点施設として成り得るよう管理運営を行っている。 令和 6 年まなび館夏祭りを企画・運営。令和 7 年 9/6 開催予定。 ・令和 3 年 DMO 人材育成に係る講師派遣事業(一社)そらの郷 ・令和 4 年徳島県にし阿波エリア（他先進地地域）の研修 ・令和 5 年長井ダム見学の受入体制の強化として、職員及びながい黒獅子の里案内人（案内ガイド）合同で、長井ダム見学研修会を実施。 ・令和 5 年フラワー長井線 1 日フリーパス×くるんと。 ・令和 6 年「ロケ地紹介ショートフィルム・コンペティション」において当エリアを題材とした「東洋のアルカディア」が最優秀賞を受賞したことを記念し、自由にエリアを巡ることができるようロケ地紹介マップを整備し HP に掲載（モデルコース有）。
	観光資源の磨き上げ	・令和 2 年観光資源の掘り起こし ブラッシュアップ事業 滞在プログラム商品開発に繋げていく取組みを実施。ブラッシュアップしたアクティビティコンテンツを選定。 ・令和 2 年モニターツアー実施 ペルソナを想定した 4 エリアのコースを設定し、アンケート調査を実施しながら観光資源の磨き上げを行った。 ・令和 2 年食のイベント開催 コロナ禍で新たな生活様式に対応したオリジナルグランピングテントを活用した「OMIKI と食の饗宴」を 2 回開催。絶景の中で、お土産チームで開発した OMIKI と OMIKI に合う料理を地元シェフに創作してもらい、おいしいお酒と料理のマリアージュで改めて地域資源のすばらしさに気づいてもらうためのイベントを開催。 ・令和 3 年アクティビティブック「郷山体験 book」製作 5 市町のアクティビティが選定された箇所を、アクティビティブックとして製作。地域内の宿泊施設、物産施設に配布し、地域内に訪れた観光客に手に取ってもらい、実際に体験

してもらうことで、滞在時間の拡大、観光消費額の増大に繋げ、アフターコロナに向けて準備を整える。
・令和４年製作したアクティビティブックの体験コンテンツの魅力向上を狙うとともに、域内に訪れた観光客等に案内できるように観光関係者向けの体験研修を実施。
・令和元～6 年長井ダム周辺アクティビティ事業
　長井ダム水辺空間オープン化に伴い、コロナ禍で人気が高まっているアウトドアアクティビティの充実を図るために、水陸両用バスの運行、遊覧船の運航を実施。令和３年から、SUP、水上自転車体験を実施。令和５年からシャワークライミング体験、長井ダム秋のイルミネーションウィークツアーを実施。長井ダム及び周辺の観光資源の魅力をより一層高めていく。
　長井ダム水源地域ビジョン推進会議委員として、長井ダム百秋湖まつりへの協力を行っている。
・令和６年小国町玉川渓谷でのシャワークライミング体験造成。
・令和 2～4 年つなぐチームによるチーム間の連携促進事業
　雪板体験会、テントサウナ体験会、水上アクティビティ体験会に参加し、チームメンバーの連携を深め、観光資源の磨き上げを行いながら、体験商品造成に繋げていく。
　テントサウナでは、令和３年に JSA（ジャパン・サウナ部・アライアンス）に登録し、コロナ禍ではあったものの情報を共有しながら令和４年には、JSA 東北サウナカンファレンス～縄文湧水サウナ編～を開催し、サウナを活用したコワーキング、ワーケーション等に繋がるような検討を行った。
・令和５年県指定文化財旧丸大扇屋の新座敷で長井舟運御膳昼食プラン造成。令和６年山形おきたま観光協議会の高付加価値な滞在型旅行商品づくり支援事業により同プランに「着物でながいのまち歩き」を加えたインバウンド向けプランを造成。令和６年同プランを新座敷貸切に変更。
・令和５年 SDGs 教育旅行プログラム造成。
・令和５年欧米人向けツアー「アルカディア郷山紀行」造成。
・令和６年東北運輸局専門家派遣事業により高付加価値コンテンツの磨き上げ・商品化に関する支援を受けアルカディア郷山紀行のブラッシュアップと海外 OTA への掲載支援をいただいた。
・令和６年戦略会議において、4 商品のブラッシュアップを行い、令和７年から新たに販売開始。
・令和６年山形県高付加価値旅行者向け観光コンテンツ造成事業業務を受託しコンテンツの造成。令和７年販売予定。

【定量的な評価】

項　　目	R2	R3	R4	R5	R6
観光者数（千人）（県統計）※1	2,313.4	2,852.2	3,262.4	3,386.4	―
旅行等商品売上（千円）	15,910	24,007	33,937	22,812	30,197
旅行等による誘客数（人）	3,581	8,592	7,830	4,643	4,974

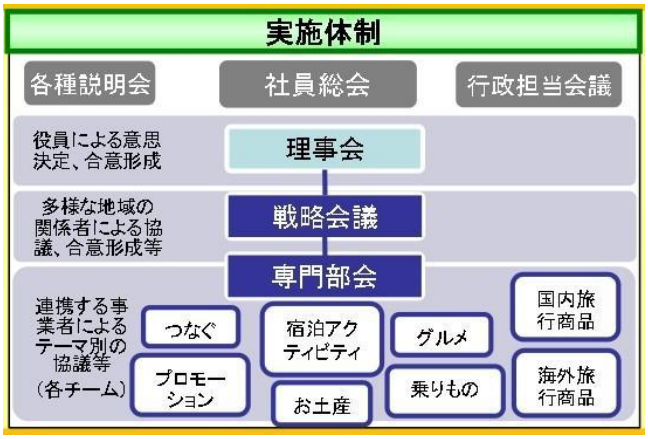
	滞在交流型旅行誘客数（人）	656	1,567	1,803	1,786	1,975
	ランドオペレーター誘客数(人)	588	78	1,154	2,498	1,971
	受注・手配による誘客数（人）	501	57	322	112	247
	水陸両用バス（人）	ｺﾛﾅ中止	4,807	4,551	855	781
	遊覧船（人）	1,836	2,083	豪雨災害中止	－	－
	ポータルアクセス数（件）※2	74,553	100,025	111,444	121,893	129,527
	会員数（普通会員）	56	69	73	77	79
	レンタサイクル利用者数（人）	70	113	135	137	149

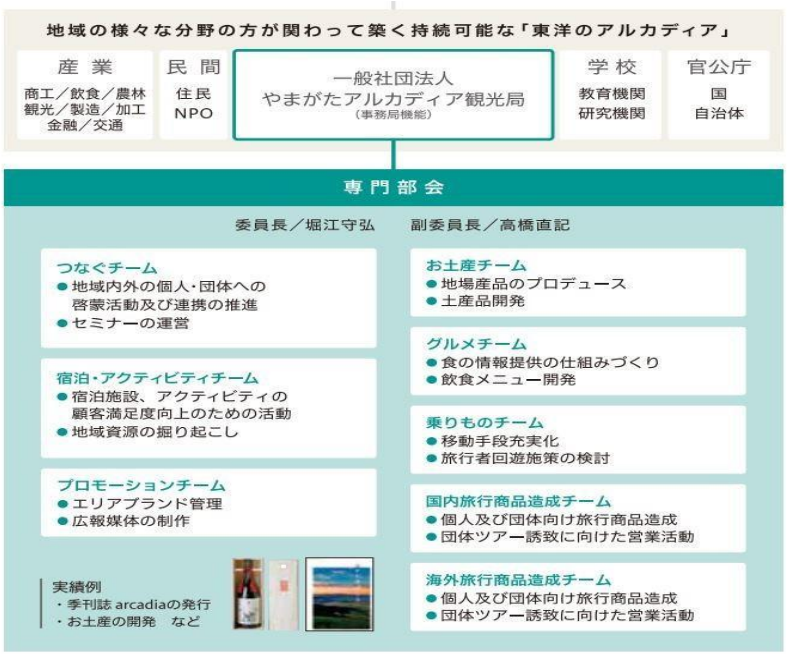
※1 令和 6 年度山形県の観光客数の報告は令和 7 年 10 月の予定
※2 R 元.10 月からポータルサイト運営開始
※R3 年度から小国町が参画

実施体制
※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。

（実施体制の概要）
「住んでよし、訪れてよし（地域が自慢できる）の観光地域づくり」を基本理念に、アルカディア地域の 5 市町における行政、観光、商工、宿泊関係、交通等、多様な関係者が参画し、各団体の代表者が理事となって、合意形成を図りながら観光地域づくりを進めている。
また、戦略や各種事業については、民間事業者や行政が一体となった戦略会議（事前に戦略会議のコアメンバー会議も開催）と専門部会を設置しており、事業や戦略について協議し、各種調査データを共有しながら事業を実施。さらに、やまがたアルカディア観光局では、各市町の魅力ある生活や文化を体験できる地域資源を活かした滞在型旅行商品の企画・販売体制を構築している。
社員総会年 1 回、理事会年 4 回、戦略会議隔月 1 回程度、コアメンバー会議隔月 1 回程度開催。
その他に、置賜地域の観光協会が中心に組織している「置賜地域インバウンド促進会議」と連携し、観光局のインバウンドに対する事業について定期的に情報を共有している。広域的には、東北観光推進機構、東北経済産業局、山形県内の DMO 組織と意見交換を実施している。

【実施体制図】





２．観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】

やまがたアルカディア観光局エリア

【区域設定の考え方】

山形県南部に位置する当エリアは、日本百名山の飯豊山や朝日連峰があり、そこから流れ出す水の豊かな地域で、四季折々には素敵な花々にめぐり合う地域である。置賜地域には 3 市 5 町の行政体があり、地域連携 DMO の協議を進めるにあたり、先行して連携に合意した長井市・南陽市・白鷹町・飯豊町の 2 市 2 町で、平成 31 年 2 月 12 日に（一社）やまがたアルカディア観光局を設立。「やまがたアルカディア観光局」の名前の由来として、1878 年にイギリスの女性旅行作家 イザベラ・バードが日本に訪れ、新潟から小国町を通り、置賜地域を旅する中で、この地域を「東洋のアルカディア」と賞したと言われている。バードが感じた「東洋のアルカディア」とは、美しい里山の風景であり、活

気に満ちた街並みや暮らしぶりであり、そこに暮らす人々の素直さや、人の好さや、ホスピタリティであったに違いない。小国町は、バードが訪れた新潟からの山形の玄関口であり、ミッション「東洋のアルカディアを子どもたちへ」、ビジョン「日本最強のローカル」、ブランドコンセプト「やまがたアルカディア～新たな自分に出逢える郷山」への親和性も高いことから、連携協議を進めてきた結果、令和３年４月から小国町が参画し、2 市 3 町で区域設定とした。

【観光客の実態等】

当エリア（長井市・南陽市・白鷹町・飯豊町・小国町）に訪れた観光者数（山形県観光者数調査）は、令和 4 年度 3,262 千人、令和 5 年度 3,386 千人で前年比 103.8%となっている。延べ宿泊者数（5 市町調査実数）は、令和 5 年度 172,025 人、令和 6 年度　対前年比 116.2%となっている。消費額（山形県観光者数調査人数と来訪者満足度調査の数値を活用）は、令和 4 年度 634.7 億円、令和 5 年度 723 億円で前年比 113.9%となっており、観光客数、消費額は伸びており、アルカディア地域の魅力を最大限に活かしながら、近隣市町、近隣県から訪れてもらえるように、マイクロツーリズムの観点で観光客誘客に努めている。

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

当地域は、四方を山々に囲まれた自然豊かな地域で、山形県の母なる川最上川や置賜野川、置賜白川、荒川、横川といった水資源にも恵まれた地域である。日本百名山の飯豊山や朝日連峰があり、トレッキングをはじめ、パラグライダーやダムを活用したカヌー体験ができ、令和 5 年からは熱気球体験が楽しめるなど、大人も子供も年間を通じて楽しめる地域の魅力を活かしたアクティビティを提供している。さらに国際公認のフルマラソンコースで山形県内唯一のフルマラソン大会も開催されており、自然を満喫しながら身体を動かし、健康になれる取り組みである。

長井ダム水辺空間オープン化によって、長井市にある道の駅を発着とした「水陸両用バス」運行や、遊覧船の運航、三淵渓谷の神秘的な場所を活用したボートツーリングも行われており、四季折々に美しく雄大な景観を体感できる。さらに令和 3 年度からは、SUP 体験や水上自転車体験を実施しており、テントサウナにもチャレンジしている。白川湖では、水没林を楽しめるカヌー体験や、秋まで楽しめる SUP 体験も人気である。また、小国町で磐梯朝日国立公園内に位置するブナの森・温身平では、全国初の森林セラピー基地に認定され、自然を満喫しながらヨガ体験や散策を楽しめる。

また当地域では、季節の花々が咲き誇り、様々なまつりを楽しむことができる。春は、古木が多く点在している「置賜さくら回廊」の桜からはじまり、水仙ロード、白つつじ、バラ、石楠花、あやめ、ゆり、はぎ、菊が咲き誇る。山形県花である紅花摘み体験もできる。

食については、隠れ蕎麦屋の里で有名なそばや、ラーメンで町おこしをしているほどラーメン店が多い地域でもある。自然豊かな地域であるため、農業も盛んであり、米、さくらんぼ、すいか、ぶどう、ラ・フランス、りんご、米沢牛、伝統野菜といった恵まれた自然環境によって、食資源も充実している。美味しいお米と葡萄と水が豊かなところとなればもちろん、この地域には、多くの酒蔵とワイナリーもあり、地元の酒蔵やワイナリーとタイアップし、やまがたアルカディア観光局のお土産品として「OMIKI」も開発し販売している。

歴史文化では、東北随一の歴史と規模を持つ「熊野大社」をはじめ、様々な神社仏閣があり、全国でもここにしかないと言われている千年以上の歴史がある黒獅子舞いが受け継がれている地域である。また山形県を縦断する母なる川「最上川」が流れ、江戸時代から舟運文化で栄えた歴史があちこちに垣間みられ、最上川上流域における長井の街場は風景の国宝と呼ばれている「重要文化的景観」に選定されており、まち歩き等が盛んに行われているところでもある。

この地域の冬は雪も多く大変厳しい状況ではあるが、冬の楽しみとして、雪板体験やスノーモービル体験、スノーシュー体験などのアクティビティをはじめ、つる細工・かんじき作りなどの冬仕事の体験やメープルサップ採取体験など大自然を満喫できる体験ツアーを造成している。

この地域を満喫した後には、ゆったりと温泉に入って楽しんで貰えるよう、赤湯温泉、
黒鴨温泉、白鷹温泉、鷹野湯温泉、長井あやめ温泉、卯の花温泉、いいで添川温泉、白川温泉、飯豊温泉、小国温泉といった多くの温泉宿があり、また中津川地区の農家民宿をはじめとする地域の方々と交流できる宿も多い地域である。

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

■エリア内宿泊施設概要

	軒数	収容人数	客室数	市街地	市街地外
長井市	１２	４４６	２２２	１０	２
南陽市	１８	１，１１９	２７６	１５	３
白鷹町	９	１９１	７０	１	８
飯豊町	１３	２３７	８４	１	１２
小国町	１２	３３６	９０	０	１２
計	６４	２，３２９	７４２	２７	３７

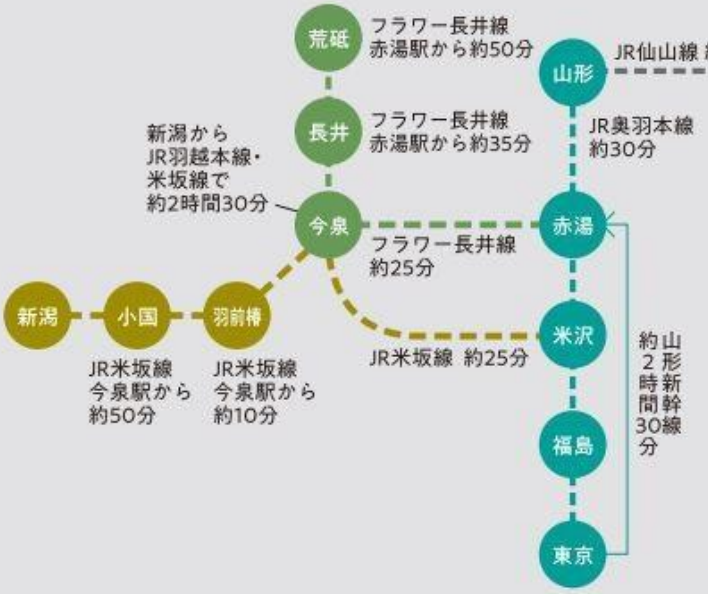
※令和 7 年 3 月 31 現在

【利便性：区域までの交通、域内交通】

〇東京駅から　山形新幹線／約２時間３０分【赤湯】
〇仙台駅から　JR 仙山線／約１時間３０分【山形】→JR 奥羽本線／約３０分【赤湯】
〇新潟駅から　白新線／約４５分【新発田】→JR 羽越本線／約３０分【坂町】→JR 米坂線／約８５分【今泉】
〇エリア内での移動
赤湯から→フラワー長井線／約２５分【今泉】→フラワー長井線／約１０分【長井】→フラワー長井線／約１５分【荒砥】
今泉から→JR 米坂線／約１０分【羽前椿】→JR 米坂線／約３７分【小国】
〇川口 JCT から
東北自動車道／約２６１km 約２時間４０分【福島大笹生 IC】→東北中央自動車道／約４６km 約４０分【南陽高畠 IC】
〇仙台宮城 IC から
東北自動車道／約２１km 山形自動車道／約３３km 約４０分【山形蔵王 IC】→R３４８ 約３３km 約５０分【白鷹町】
〇新潟中央 IC から
日本海東北自動車道／約４０km 約３０分【荒川胎内 IC】→R１１３／約３６km 約４０分→【小国町】
〇エリア内での移動
【南陽高畠 IC】→R１１３・R２８７／約１９km 約２５分【長井】→R２８７／約１１km 約２０分【白鷹町】
【南陽高畠 IC】→R１１３／約２０km 約２５分【飯豊町】→１１３／約２９km 約２５分【飯豊町】→R１１３／約２９km 約３０分【小国町】

ACCESS

電車でお越しの場合



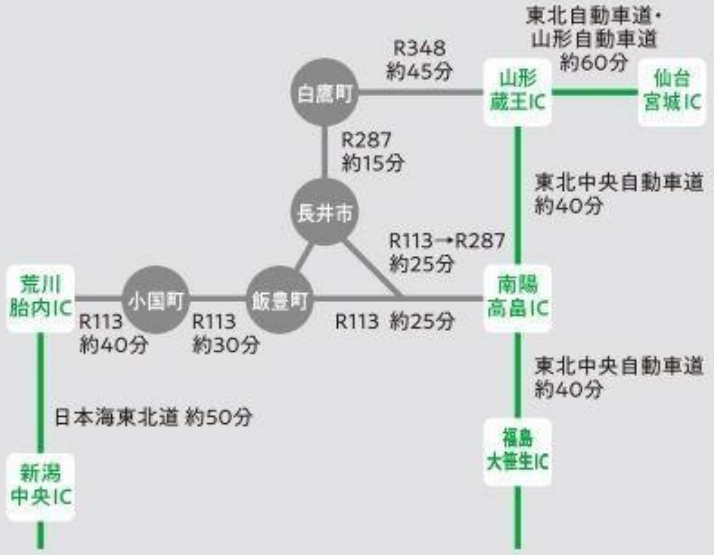
■東京駅から
山形新幹線／約2時間30分【赤湯】

■仙台駅から
JR仙山線／約1時間30分【山形】→JR奥羽本線／約30分【赤湯】

■新潟駅から
白新線／約45分【新発田】→JR羽越本線／約30分【坂町】→JR米坂線／約85分【今泉】

■エリア内での移動
赤湯から→フラワー長井線／約25分【今泉】→フラワー長井線／約10分【長井】→フラワー長井線／約15分【荒砥】
今泉から→JR米坂線／約10分【羽前椿】→JR米坂線／約37分【小国】

車でお越しの場合



■川口JCTから
東北自動車道／約261km 約2時間40分【福島大笹生IC】→東北中央自動車道／約46km 約40分【南陽高畠IC】

■仙台宮城ICから
東北自動車道／約21km 山形自動車道／約33km 約40分【山形蔵王IC】→R348 約33km 約50分【白鷹町】

■新潟から
日本海東北自動車道／約40km 約30分【荒川胎内IC】→R113／約36km 約40分→【小国町】

■エリア内での移動
【南陽高畠IC】→R113・R287／約19km 約25分【長井】→R287／約11km 約20分【白鷹町】【南陽高畠IC】→R113／約20km 約25分【飯豊町】→R113／約29km 約30分【小国町】

INFORMATION

長井市 NAGAI city

鉄道
山形鉄道フラワー長井線(長井駅)　TEL 0238-88-2002(本社)
JR米坂線(今泉駅)

バス
山交バス　山交バス案内センター　TEL 023-632-7272
長井市営バス　長井市地域づくり推進課　TEL 0238-84-2111

タクシー
白鷹タクシー　TEL 0238-84-1311
中央タクシー　TEL 0238-84-2157
長井交通　TEL 0238-88-2171

レンタカー
あやめレンタカー　TEL 0238-84-6535
長井レンタカー　TEL 0238-88-9721

レンタサイクル
道の駅川のみなと長井(やまがたアルカディア観光局)　TEL 0238-88-1831
山形鉄道長井駅　TEL 0238-84-1529

白鷹町 SHIRATAKA town

鉄道
山形鉄道フラワー長井線(荒砥駅)TEL 0238-86-0086

バス
山交バス
山交バス案内センター:023-632-7272

タクシー
白鷹タクシー　TEL 0238-85-2525
朝日観光タクシー　TEL 0238-85-2028

レンタサイクル
山形鉄道フラワー長井線荒砥駅　TEL 0238-85-2016

南陽市 NANYO city

鉄道
JR奥羽本線・山形新幹線(赤湯駅)
山形鉄道フラワー長井線(赤湯駅)　TEL 0238-43-3440

バス
市内循環バス　南陽市社会教育課　TEL 0238-40-3211

タクシー
赤湯観光タクシー　TEL 0238-43-2140
やまばと観光ハイヤー　TEL 0238-43-2226
辻タクシー赤湯営業所　TEL 0120-45-3201
宮内南陽タクシー　TEL 0238-47-3010
赤湯観光タクシー宮内営業所　TEL 0238-47-3211

レンタカー
駅レンタカー赤湯営業所　TEL 0238-27-0205
トヨタレンタカー赤湯駅前店　TEL 0238-50-1100
ニッポンレンタカー東北㈱赤湯駅前営業所　TEL 0238-50-0068
オリックスレンタカー赤湯駅北店　TEL 0238-43-7811
赤湯レンタカー　TEL 0238-50-0100
ニコニコレンタカー南陽三間通店　TEL 0120-32-2525

レンタサイクル
JR赤湯駅　TEL 0238-40-2002(南陽市観光協会)
赤湯温泉観光センター　ゆーなびからころ館　TEL 0238-43-3114

飯豊町 IIDE town

鉄道　JR米坂線

タクシー
めぎみ交通株式会社(長井交通株式会社)　TEL 0238-72-2137

レンタサイクル
HOTEL SLOW VILLAGE　TEL 0238-87-1730
白川温泉 白川荘　TEL 0238-77-2124
中津川むらづくり協議会　TEL 0238-77-2020
羽前椿駅(飯豊町観光協会)　TEL 0238-86-2411

小国町 OGUNI town

鉄道　JR米坂線(小国駅)

バス
山交バス 山交バス高速バス予約センター　TEL 023-632-7280
新潟交通 新潟交通高速バス予約センター　TEL 025-241-9000
小国町営バス　町民税務課　TEL 0238-62-2260

タクシー
小国タクシー　TEL 0238-62-3223

【外国人観光客への対応】

・観光パンフレットの外国語表記対応（英語、中国語繁体語）
・観光ポータルサイト外国語表記対応（英語、中国語繁体語）
・観光マップの外国語表記対応（英語、中国語繁体語）
・観光案内所の Wi-Fi 環境整備
・通訳端末整備
・道の駅川のみなと長井（免税店）
・道の駅いいで（免税店）
・インバウンド対応勉強会開催（令和３年３月 17 日）
・地域の観光人材のインバウンド対応能力向上研修会（令和４年２月９日）
　上記研修等を定期的に開催し、宿泊や観光施設での接客接遇能力を向上させていく。
・令和６年海外 OTA サイトに新規アカウント開設し商品掲載（viator、Get　Your　Guide、KKDAY）。
・令和６年 Expo 2025　Official Experiential Travel Guides(大阪・関西万博サイト）への商品掲載申請。
・令和６年観光外国語ガイド養成の検討。
・令和７年観光外国語ガイド育成に着手。顔合わせ会及び研修会（令和７年７月１日）。
　令和７年度中４回程度の研修を実施予定。

	長井市	南陽市	白鷹町
観光施設・商業施設	あやめ公園／白つつじ公園／はぎ公園／ピオニーの森／木地山ダム／長井ダム（ながい百秋湖）／古代の丘／古代の丘資料館／最上川河川敷／白川河川敷／最上川河川緑地公園／フットパス／梅花藻／最上川発祥の地／まちなか水路／置賜さくら回廊／野川まなび館／フラワー長井線／道の駅川のみなと長井／菜なポート	鈴木果樹園・高橋青果・最上屋（リンゴ狩り）／紫金園・佐藤観光ぶどう狩り園・白竜園・漆山果樹園（葡萄狩り）／松田観光果樹園・安部農園・ダイマル農園・石田農園・鈴木さくらんぼ園（さくらんぼ狩り）／結城豊太郎記念館／夕鶴の里資料館／中央花公園／ゆーなびからころ館／わらび園／烏帽子山公園／双松公	最上川にかかるヤナ場／ふるさと森林公園（テニスコート、パークゴルフ場、キャンプ場、ゴルフ練習場）／いきいき深山郷のどか村／深山工房つち団子／深山和紙振興研究センター／白鷹スカイパーク／山峡紅の里／紅花の館／隠れ蕎麦屋／佐野原五百羅漢園／道の駅白鷹ヤナ公園／あゆ茶屋／どりいむ農園直売所／置

	／けん玉広場スパイク／農家れすとらんなごみ庵／蔵高宿／獅子宿燻亭／置賜生涯学習プラザ／生涯学習プラザ運動公園／長井駅と一体化した長井市庁舎／遊びと学びの交流施設くるんと	園／南陽スカイパーク／足湯（さきわいの湯）／あっこポッポ湯／烏帽子山公園／置賜さくら回廊／フラワー長井線／JR 山形新幹線	賜さくら回廊／最上川フットパス／フラワー長井線／田んぼアート／白鷹スキー場
温泉	卯の花温泉（はぎの湯）／長井あやめ温泉ニュー桜湯	赤湯温泉（御殿守／近江屋／櫻湯山茱萸／丹泉ホテル／丹波館／松島館／升形屋／むつみ荘／森の湯／瀧波／歌丸／大文字屋／清茂登／大和屋）	鷹野湯温泉パレス松風／白鷹温泉白鷹荘（日帰り温泉）／黒鴨温泉滝の湯
自然	長井葉山／祝瓶山／熊野山／不伐の森／21 世紀不伐の森／最上川／置賜野川／置賜白川／三階滝／散居村／朝日連峰／三淵渓谷／伊佐沢の久保ザクラ／草岡の大明神ザクラ／最上川堤防千本桜／梅花藻	くぐり滝／十分一山／高ツムジ山／白竜湖／白鷹山	紅花／三ツ瀧／愛染峠／佐野原岩盤（最上川黒滝舟道）／薬師ザクラ／殿入ザクラ／子守堂のサクラ／赤坂の薬師ザクラ／後庵ザクラ／八乙女種まきザクラ／称名寺阿弥陀堂のサクラ／十二の桜／山口奨学桜／御衣黄桜／釜の越農村公園の桜
歴史・文化	国重要文化的景観として選定された景観群／花菖蒲長井古種／伊佐沢念仏踊／總宮神社／遍照寺／馬頭観音／文教の杜／丸大扇屋／旧西置賜郡役所／長沼孝三彫塑館／旧長井小学校第一校舎／青苧蔵門／齋藤家住宅／長沼（名）／丸や芳賀醤油店／山一醤油店／旧丸中横仲商店／鍋屋本店／岩城屋／桑島記念館／旧小池医院／旧羽陽銀行／黒獅子舞／獅子踊り（河井、平山、勧進代、五十川）／最上川舟運宮舟着場跡／最上川舟運小出舟着場跡／羽前成田駅／置賜三十三観音（5 番九野本観音観音寺、6 番時庭観音正法寺、10 番宮の観音普門坊、17 番芦沢観音雲洞庵、31 番五十川観音正寿院、32 番森観音遍照寺）／競技用けん玉／長井紬／レインボープラン／成島焼和久井窯	稲荷森古墳／烏帽子山八幡宮／鶴布山珍蔵寺／置賜三十三観音（12 番赤湯聖観音東正寺、18 番新山観音珍蔵寺、28 番宮﨑観音綱正寺、30 番長谷観音宝積坊）／熊野大社／みちのくおとぎ街道／民話／二宮神社／土社神社／二色根古墳／獅子冠並天ばよい／舞楽及び稚児舞／交流プラザ蔵楽（旧宮内繭市場繭蔵）／	観音寺観音堂（深山観音）／瑞龍院／蔵高院（即身仏）／白鷹虚空蔵尊／正念寺（丈六地蔵）／最上川つぶて石／最上川鉄橋（選奨土木遺産）／深山和紙／本場米琉（白鷹板締小絣）／高玉芝居／畔藤田植え踊り／鮎貝八幡宮／夫婦観音／黒滝開削記念碑／小四王原遺跡／称名寺の切支丹文書／置賜三十三観音（7 番高玉観音円福寺、8 番深山観音観音寺、9 番杉沢観音永泉寺、13 番関寺観音円光寺、16 番鮎貝観音泉蔵院、20 番仏坂観音十王院、22 番広野観音真言院、27 番高岡観音相応院、29 番松岡観音岡応寺）／トレッキング（白鷹山、頭殿山、長井葉山）
スポーツ・イベント	白つつじマラソン大会／長井マラソン大会／あやめまつり／雪灯り回廊まつり／ながい水まつり／最上川花火大会／白つつじまつり／黒獅子まつり／長井黒べこまつり／長井 1000 人芋煮会／縄文まつり／ながい百秋湖まつり／河原で芋煮／葉っぱ塾／ローカル線プロレス／ぼくらの文楽／長井文化回廊／水陸両用バス／百秋湖遊覧船／三淵渓谷通り抜け参拝／SUP／水上自転車	さわやかワインマラソン／赤湯温泉桜まつり／スカイフェスティバル in 南陽／南陽バラまつり／熊野大社例大祭／ワインフェスティバル in 南陽／菊まつり／赤湯温泉ふるさとまつり／なんよう雪灯かりまつり	白鷹若鮎マラソン大会／パラグライダー／しらたか古典桜の里さくらまつり／ヤナ開きまつり／紅花まつり／白鷹鮎まつり／きつねまつり／新そばキャンペーン／あゆ茶屋新蕎麦まつり／しらたか雪紅(あか)り／おきたま・かみのやま雛回廊／白鷹工芸体験まつり
グルメ	あけがらし／米など農産物／リンゴ等果物／米沢牛／馬肉／玉こんにゃく／みそもち／そば／馬肉ラーメン／行者菜／卯の花姫の涙（ミネラルウォーター）／クラフトビール／地酒（長沼合名会社、鈴木酒造店長井蔵、寺嶋酒造本舗）／草岡ハム／きくいも	さくらんぼ／ぶどう／りんご／ラ・フランス／ラーメン／ワイナリー（酒井ワイナリー・佐藤ぶどう酒・須藤ぶどう酒工場・大浦葡萄酒・グレープリパブリック・イエローマジックワイナリー）／地酒（東の麗酒造）／そば	そば／かいもち（そばがき）／鮎料理／馬刺し／あけびの肉味噌炒め／地酒（加茂川酒造）

	飯豊町	小国町
観光施設・商業施設	いいでどんでん平ゆり園／いいでどんでん平スノーパーク／めざみの里観光いちご園／中津川観光わらび園／岳谷釣堀／農家レストランエルベ／高峰そば工房／水仙ロード／渓流釣り／岳谷釣り堀／いいで天文台／ひらすび牧場／なかつがわ農家民宿	白い森木工館／白い森オートキャンプ場／森の中のコテージ（健康の森横根バンガロー）／横根スキー場／水源の郷交流広場パークゴルフ場／きてくろ館／観光わらび園／まみの平自然観光栗園／巨大かまくら（民宿の越後屋）／道の駅白い森おぐに

	／白川ダム湖畔公園／めざみすわんぱーく／散居集落展望台／めざみの里観光物産館／農林産物直売所ふるさとショップ／JR 米坂線／白川ダムキャンプ場／白川ダム湖畔オートキャンプ場／岳谷親水公園キャンプ場／大日杉キャンプ場／白川湖パークゴルフ場／手の子スキー場	／美森マルシェ／森のめぐみ直売所／水源の郷交流館お食事処ほたる／金目そばの館／マタギの郷交流館／
温泉	添川温泉しらさぎ荘／白川温泉白川荘／神乃湯ホテル	飯豊温泉（梅花皮荘／川入荘／飯豊山荘）／小国温泉松風館
自然	農村の原風景／田園散居集落／眺山水芭蕉群生地／ひめさゆり群生地／草木塔／越後米沢街道十三峠／白川湖の水没林／源流の森／飯豊山／中津川ジオサイト／水仙ロード	飯豊連峰／朝日連峰／渓流釣り／ワカサギ釣り／横川ダム白い森おぐに湖／飛泉寺の大イチョウ／かじか滝／健康の森横根／小渡の水芭蕉群／赤芝峡／玉川渓谷／樽口峠展望台／桜公園（梅花皮荘前）の残雪桜／天狗橋／森林セラピー基地温身平／石転び沢／梅花皮大滝（世界百名瀑）
歴史・文化	獅子舞／念仏踊／菅笠づくり／天養寺観音堂及び木造聖観音立像／常福院木造不動明王及び二童子立像／飯豊山穴堰／中村原土壇／上屋地遺跡／渡邊六郎兵衛住宅長屋門／草木塔／置賜三十三観音（2 番高峰観音源居寺、3 番黒沢観音高伝寺、4 番中村観音天養寺、11 番萩生観音瑞雲寺）	大宮子易両神社／黒沢峠敷石道／越後米沢街道・十三峠（大里峠／萱野峠／朴ノ木峠／高鼻峠／貝淵峠／黒沢峠／桜峠／才ノ頭峠／大久保峠／宇津峠）／舟渡の獅子踊り／古田歌舞伎／マタギ文化
スポーツ・イベント	白川湖カヌー体験／全国白川ダム湖畔マラソン大会／宇津峠歩こう会／中津川雪まつり／中津川山菜まつり／いいで添川温泉まつり／ゆりまつり／いいで黒べこまつり／白川ダム SNOW えっぐフェスティバル／中村夏祭り／めざみの里まつり／いいで秋の収穫祭／こくわワイン新酒発表会／どぶろく新酒発表会／めざみ祭／眺山牧場まつり／飯豊連峰山開き	おぐに石楠花まつり／小玉川熊まつり／朝日連峰山開き／飯豊連峰山開き／魚のつかみどり大会／白い森おぐに湖体験／おぐに夏祭り／大里峠越え交流／黒沢峠まつり／飯豊連峰紅葉ジョギング大会／古田歌舞伎公演／つる細工講習会／町民登山／雪の学校／マタギの郷小玉川雪まつり（雪の巨大迷路）
グルメ	米沢牛／山菜／どぶろく及び関連商品／いいで源泉秘境の湧水／こくわワイン／米／アスパラ／酢（柿、ぐみ、こくわ）／いいで山 OH（放牧酪農牛乳、ヨーグルト、ソフトクリーム、アイスクリーム、牛乳プリン）／宇津沢かぼちゃ／雪室／あまみ芋／メープルシロップ／地酒（若乃井酒造）	山菜（わらび、うど、ゼンマイ、等）／きのこ（なめこ、舞茸、しいたけ、きくらげ、等）／雑穀（たかきび、もちきび、等）／そば／あけび／米／米沢牛／やまがた地鶏／熊肉／岩魚／地酒（桜川酒造）

３．各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
来訪者満足度	２市３町内の来訪者満足度を把握し総合的な振興策に資するため	「旅行に関するアンケート調査」自主事業として実施
旅行消費額	２市３町内の来訪者満足度を把握し総合的な振興策に資するため	「旅行に関するアンケート調査」自主事業として実施
リピーター率	２市３町内の来訪者満足度を把握し総合的な振興策に資するため	「旅行に関するアンケート調査」自主事業として実施
宿泊者数	宿泊者数の統計を取り、観光政策等による効果を図るため	「各市町行政から聞き取り調査」自主事業として実施

入込観光客数調査	観光客数の統計を取って、観光政策、戦略会議等による効果を図るため	山形県観光者数調査を活用
滞在交流型旅行商品調査	滞在交流型旅行商品をさらに売れるよう改善するため	アンケート調査を自主事業として実施
滞在交流型旅行商品、ランドオペレーター等の催行数	観光政策、戦略会議等による効果を見定める	事務局による調査
滞在交流型旅行商品、ランドオペレーター等による誘客数	観光政策、戦略会議等による効果を見定める	事務局による調査
滞在交流型旅行商品、ランドオペレーター等による売上額	観光政策、戦略会議等による効果を見定める	事務局による調査
滞在交流型旅行商品、ランドオペレーター等による宿泊者数	観光政策、戦略会議等による効果を見定める	事務局による調査
ポータルサイトアクセス数	閲覧者のニーズ傾向、地域特性の把握	Google Analytics 調査による
観光局会員数	多様な関係者の合意形成に資する	事務局による調査

４．戦略

（１）地域における観光を取り巻く背景

人口減少、少子高齢化が進む中、アルカディア地域の 5 市町においても、2010 年から 2020 年の 10 年間で約 11,500 人もの人口が減少している状況であり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって、観光はもとより、様々な業種が厳しい経営状況となっている。しかし、コロナ禍でマイクロツーリズムが注目され、白川湖の水没林や長井ダムでの水陸両用バス・遊覧船運航など、県内のお客様が多く訪れ、県内での認知度が上がっている。

地域の課題に対して、観光地域づくり法人（地域連携 DMO）が中心となって、行政、観光、商工、宿泊関係、交通等、多様な関係者が密接に連携し、この地に住む人、働く人、訪れる人とともに、精神的にも経済的にも幸福度の高い地域をつくりあげ、次世代に繋いでいくためにも、この「東洋のアルカディア」と呼ばれるこの地に想いを馳せ、“日本最強のローカル”を目指して観光地域づくりに取り組んでいく。

（２）地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	強み（Strengths） ・自地域で積極的に活用できる強みは何か？ ・山岳、四季の彩などの豊かな自然環境 ・桃源郷としての郷山、田舎、風土など地理的条件が整っており、そこには、エリアー帯の共通した文化、伝統があり、現存している ・良質な温泉資源が豊富 ・酒蔵やワイナリーがあり、地酒・ワイン、伝統野菜、食が豊富である （酒蔵：長沼合名会社、鈴木酒造店長井蔵、東の麓酒造、加茂川酒造、若乃井酒造、桜川酒造／ワイナリー：酒井ワイナリー、佐藤ぶどう酒、須藤ぶどう酒工場、大浦葡萄	弱み（Weaknesses） ・自地域で改善を必要とする弱みは何か？ ・住民は魅力ある観光資源に気づいていない ・インバウンド受入体制がまだまだ足りていない ・通過型観光から脱却できていない ・全国レベルの観光地、物産が少ない ・エリアの認知度、知名度が低い ・移住者が少ない ・域内の観光消費の仕組みが脆弱である ・新たな地場産品のプロモーションが進んでいない ・交通アクセス、二次交通が脆弱 ・人口減少、少子高齢化等による担い手不足

	酒、グレープリパブリック、イエローマジックワイナリー） ・明治から昭和にかけての建築物建造物が多く残存している ・方言ガイドがいるフラワー長井線（令和５年全線開通 100 周年）、景色を楽しめる米坂線がある ・花にあふれている地域である（桜、白つつじ、バラ、石楠花、あやめ、ゆり、紅花、菊） ・桜の古木が多い（置賜さくら回廊） ・各エリアにまち歩き等の案内人のグループがある ・日本でも誇れる、白川湖の水没林、長井百秋湖三淵渓谷、山形県花である紅花畑、森林セラピー基地温身平、十分一山からの景観等がある	・将来を見据えた魅力ある就職先が少ない
外部環境	機会（Opportunity） ・自地域にとって追い風となる要素は何か？ ・観光交流センター等の施設整備（庁舎建設・複合施設建設） ・ふるさと回帰（田舎暮らし）、健康・癒し志向、の高まり ・リモートワークの促進による居住地の選択肢の広がり ・台湾に営業を委任しているランオペがある ・JR 東日本南東北重点販売地域（R4.4～6） ・コロナ禍により自然アクティビティの需要の高まりとマイクロツーリズムの傾向 ・令和 6 年 6 月 JR 東日本「東北の宝物プロジェクト」に選定	脅威（Threat） ・自地域にとって逆風となる要素は何か？ ・継続的な人口減少 ・観光資源、地域環境を支える地域社会の過疎化、観光関連事業者の高齢化、人手不足 ・若者等の人材流出による生産人口の減少 ・産業経済の停滞 ・新型コロナウイルス感染症の影響による観光客の減少、消費の落ち込み ・令和 4 年 8 月 3～4 日にかけての豪雨災害により JR 米坂線の坂町駅～今泉駅の区間が運休 ・令和 7 年 4 月～フラワー長井線が運転士不足により減便運行

（３）ターゲット

○第１ターゲット層 有名な観光地はもう行き尽くして、田舎で地域の人と触れ合う、地域の文化をじっくり味わいたいという探求心があり、第二の故郷としてこの地域（アルカディア地域）に興味を持ってくれる方や、再び訪れてくれる大人の女性（30～50 代の女性）
○選定の理由 設立当初実施した戦略会議で、当地で過ごしてもらいたい旅行者をワークショップ形式でペルソナ像を描いた。アルカディア地域には、原風景が残っている地域資源が豊かなところであり、長年地域伝統文化を大切にして守られてきた暮らしがそこにはある。有名な観光地はもう行き尽くして、田舎の地域の人とのふれあいや、地域の文化をじっくりと味わいたいという探求心がある首都圏の 30 代から 50 代の女性、主に 40 代女性をターゲットとしている。 その後、観光局初年度の来訪者満足度調査やターゲットからの受容性調査を行った結果、40 代の首都圏女性の総合満足度が高く、提供するコンテンツやブランドイメージへの共感度が高かったことからメインターゲットとして継続して選定している。 ○取組方針

来訪者満足度調査をもとにマーケティングや滞在型旅行商品等においてもアンケートを収集し、分析をすることで、魅力ある訴求効果がある旅行商品造成につなげていく。また、関係人口の増大を目指して、ライク・ア・バード okitama 事業を現在展開しており、現代のイザベラ・バードと呼ばれるまさにターゲット層にあったインフルエンサーに、地域で活躍している女性に逢いに、旅する映像を撮影し、動画や SNS で発信することで、アルカディア地域、そしてその女性のファンになっていただいて、よりターゲット層にここの魅力を伝えられ、リピーターとなって訪れてもらえるようなコンテンツを磨き上げていく。
○第２ターゲット層　台湾旅行者
○選定の理由 組織内に、すでに台湾との交流実績があり、桃源郷といわれる日本の原風景やアルカディア地域の歴史・文化・生活体験・ローカル線等に興味を持っているため。 ○取組方針 台湾をターゲットとするプロモーションを強化し、台湾のランドオペレーターの旅行会社と連携して、実際に台湾における旅行会社等に営業活動を行っている。台湾と置賜を繋ぐオンラインツアーを開催するなど、当地域の親和性の高い地域への営業活動を継続しながら、団体旅行者、FIT など新たな顧客獲得に取り組む。

（４）観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	やまがたアルカディア～新たな自分に出逢える～
②コンセプトの考え方	アルカディア地域には、最上川の源流地域となる山間地と、自然と人が共存しながら生活文化を育んできた山里地域が広がっている。また草木塔と呼ばれる、伐採した樹木への供養と草木の成長を願う気持ちを込めた石碑があるなど、草木の命をいつくしむ精神は今もなお地域に刻まれ続けている。これらの歴史文化的要素と郷（農業中心）山（山登りやアクティビティ）などを活かし、観光地ではないことを強みとしてとらえ、自分に向き合える、自然と人との調和が心の奥に響く、美しいふるさとの原点が、ここアルカディア地域にある。かつて、この地をイギリスの女性旅行作家イザベラ・バードが訪れ、「東洋のアルカディア」と賞した。実り多く手入れされた大地に、この地で生き生きと暮らす優しい人々。時代とともに景色は少しずつ変わるが、自然や人を大事にしながら伝統文化を守り続け、暮らす姿は変わっていない。そんな「やまがたアルカディア」地域を訪れて、地域の人の笑顔に出逢い、旅を通して新たな自分に出逢ってほしい。そしてこの地に、人に、また逢いに来てほしい。 現代の「東洋のアルカディア」を具現化し、そこに住まう人々の幸福度が高く、その幸せな暮らしぶりを、外の人から、見て、体験して、楽しんで貰える地域づくりを行って、「やまがたアルカディア」は、あなたの第二の故郷（郷山）を目指す。 ミッション　東洋のアルカディアを子どもたちへ この地に住む人、働く人、訪れる人とともに精神的にも経済的にも幸福度の高い地域をつくりあげ、次世代につないでいく ビジョン　日本最強のローカル 豊かな風土、持続可能なコミュニティ、いつでも帰れる、みんなを迎えられる心のふるさとやまがた

５．関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	（１）当法人内に戦略会議と専門部会を構成、構成員は地域の関連事業者、団体、行政（市町・県）、当法人選抜理事。 ①戦略会議は、推進組織。官民広域連携体制の強化と諸分野の政策立案及び提案、提言を主たる業務とし、一部事業を実施する。専門部会からの内容を協議。決定した政策・各事業について理事会に上程し議決を受ける。隔月１回開催。※協議する内容を事前に「戦略会議コアメンバー会議」で打ち合わせを行ってから会議に臨んでいる。 ②専門部会はその下部組織。それぞれにチーム「つなぐ」「宿泊・アクティビティ」「プロモーション」「お土産」「グルメ」「乗りもの」「国内旅行商品造成」「海外旅行商品造成」を置き、細部協議を行い、戦略会議に提案し、事業を実施する。各チームで定期的な打合せ会を開催。 （２）地域連携 DMO 行政担当課長・担当者合同会議を開催 戦略会議や専門部会において、各行政担当者も入り定期的な会議を開催しているが、その他に、行政担当課長・担当者が一堂に会し、事業進捗状況や、次年度に対する事業、予算要求などについて協議し、令和７年度以降の DMO の自走に向けた協議も行っている。 年 3～4 回程度開催。 （３）来訪者満足度調査等に関する事業報告書を作成し、分析結果については、上記関係者並びに地域の関係者に説明を行っている。 メインは、お客様の思い出に残る滞在、体験の提供を目指し、訪れていただけるような魅力ある地域づくりのために行う。 令和６年に住民意識調査を実施。
観光客に提供するサービスについて、維持･向上・評価する仕組みや体制の構築	来訪者満足度調査により、ユーザー満足度を調査し、その結果を元に戦略会議で維持、向上、評価を実施し、次の戦略につなげている。 観光案内人の人材育成、域内の事業者が提供する観光サービスのおもてなしのための研修の実施と宿泊施設や観光施設による地域の観光人材のインバウンド対応能力向上研修会等の開催や、来訪者満足度調査による調査結果のフィードバックを行い、受入体制の整備を実施。また、宿泊施設や観光施設、観光関係者を対象としたアルカディア地域の観光資源やアクティビティを体験してもらい、観光客に対してガイドブック等を活用してご案内いただけるよう、ニーズに合ったサービスの提供に努め、改善を図っている。
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信･プロモーション	アルカディアエリアでブランディングを行い、ブランディングに基づいた情報発信を行う。全体の窓口となる HP（ポータルサイト）を設置し、各エリアの詳細な情報は、各エリアの観光サイトを確認できるようリンクを貼って流入を促している。また、観光客が利用しやすい旅行予約サイトも構築し、SNS 等を活用した情報発信を行っている。 更に、各地域で象徴となる「とっておきの一枚の写真」を重要視し、ポスターやクリアファイル等を製作。また、エリア内の周遊を促すため、広域ガイドブックやエリアマップを制作し、宿泊施設や立ち寄り施設に設置し、滞在時間を延ばすための工夫をしている。 インナープロモーションも重要と捉え、年４回程度の「季刊誌アルカディア」を発行し、域内と不特定の方が訪れる場所に設置して、アルカディア地域の魅力を発信している。令和５年フリーマガジンへの掲載のほか掲載記事の抜粋版を５市町で全戸配布、回覧を実施。

	令和 4 年 12 月からは、観光ダイレクトマーケティングを行うための人材を採用。ホームページ、SNS 等を活用した情報発信を行っている。 置賜地域の行政と民間からなる山形おきたま観光協議会の「新たな広域観光プロモーション部会」に事務局長が参画し、令和 6 年度おきたま観光企画塾（全 6 回）の事務局を担った。その内 9/19 の回では「地方発信で世界へ…効果的なプロモーション手法」をテーマに副理事長が講話を行った。地域連携の意識強化や事業者が抱える PR 手法等の課題解決につながる一助となった。

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること

６．ＫＰＩ（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後３年間における明確な数値目標を記入すること。
※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去３年間の実績も記入すること。

（１）必須ＫＰＩ

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●旅行消費額（百万円）※１	目標	73,477.3	75,240.7	77,045	79,510	80,305	81,108
		(7,347)	(9,287)	(9,509)	(9,813)	(9,877)	(10,138)
	実績	63,471.4	72,304.4	73,047.2			
		(－)	(－)	(－)			
●延べ宿泊者数（千人）	目標	169.3	172.0	175.8	181.0	182.8	184.6
		(1.6)	(5.1)	(7.0)	(8.4)	(8.5)	(8.6)
	実績	148.0	150.6	150.6			
		(－)	(1.4)	(2.1)			
●来訪者満足度（%）	目標	27.0	28.0	29.0	30.0	43.0	44.0
		(27.0)	(28.0)	(29.0)	(30.0)	(31.0)	(32.0)
	実績	37.7	42.5	41.7			
		(－)	(－)	(－)			
●リピーター率（%）	目標	65.0	66.0	67.0	68.0	69.0	70.0
		(65.0)	(66.0)	(67.0)	(68.0)	(69.0)	(70.0)
	実績	68.8	66.9	67.3			
		(－)	(－)	(－)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値
※1 令和 6 年度の山形県観光客数の調査結果が令和 7 年 10 月に発表なる予定

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】
令和元年度から来訪者満足度調査を行っており（4 市町・令和 3 年度から 5 市町で実施中）、実績数値を把握しながら山形県観光客調査、構成自治体の調査データを基に、KPI の設定について、やまがたアルカディア観光局の戦略会議で検討し、理事会に諮って設定している。

【設定にあたっての考え方】
●旅行消費額

令和元年度から来訪者満足度調査を実施しており、日帰りと宿泊の平均消費額を把握した数値を基に山形県観光者数調査のアルカディアエリアの観光者数による算出。一定の率を維持・向上するよう設定した。

●延べ宿泊者数

2022 年度の数値は、2019 年度の数値を採用（ウィズコロナで対応していけるよう 2019 年度の数値に戻る考えに至る）。2023 年度からは一定の率を維持・向上するよう設定した。

●来訪者満足度

観光庁が推奨する観光客満足度調査調査票[モデル調査票 A]に準拠した項目にて作成された観光圏来訪者満足度調査票を元に、独自項目を追加し作成。調査方法は、地域内の 5 市町で調査地点を設定し、「観光・宿泊施設等での配布・郵送回収調査」または「WEB 調査」の質問紙法で実施。

目標を上回っていることから、令和 8 年度からの目標を令和 6 年度の実績から 3%程度の伸びに設定した。

●リピーター率

観光庁が推奨する観光客満足度調査調査票[モデル調査票 A]に準拠した項目にて作成された観光圏来訪者満足度調査票を元に、独自項目を追加し作成。調査方法は、地域内の 5 市町で調査地点を設定し、「観光・宿泊施設等での配布・郵送回収調査」または「WEB 調査」の質問紙法で実施。

高いリピーター率となっていることから一定の率を維持・向上するよう設定した。

（２）その他の目標

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●旅行業等による売上額（千円）	目標	81,751	107,353	38,000	36,400	49,950	70,700
		(16,350)	(21,470)	(2,000)	(3,200)	(10,200)	(22,800)
	実績	32,688	22,812	30,197			
		(ー)	(ー)	(ー)			
●旅行商品催行数（回）	目標	302	441	420	336	482	712
		(ー)	(88)	(25)	(20)	(80)	(480)
	実績	426	292	313			
		( )	( )	(ー)			
●旅行商品等で宿泊を伴う旅行をした人数（人）	目標	439	579	225	313	1,149	1,955
		(87)	(115)	(10)	(20)	(80)	(480)
	実績	315	295	413			
		(ー)	(ー)	(ー)			
●会員数（人）	目標	159	189	75	80	85	93
		( )	( )	( )	( )	( )	( )
	実績	73	77	79			
		(ー)	(ー)	(ー)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

・アルカディアエリア内の地域資源の新たな発掘や、地域資源の磨き上げを行い、多くの観光客に訪れてもらえるよう、また日帰りから宿泊に繋げてより滞在時間の延長や旅行消費額を増大させていくために、各地域の関係者と知恵を出し合いながら滞在型旅行商品を造成し、ポータルサイトと EC サイトを構築し、情報発信並びに旅行商品の販売を行っている。

・旅行会社やバス会社に向けて、地域の魅力を熟知している地元の関係者が集まり、テーマを絞り込んだアルカディアエリアの立ち寄りスポットを「タイアップ旅行商品」としてツアー行程を組んで、営業し提案している。
以上のことから、KPI の設定項目として、旅行業等による売上額、旅行商品催行数、旅行商品等で宿泊を伴う旅行をした人数、会員数を設定し、目標数値設定についても、戦略会議で検討し、理事会に諮って設定している。

【設定にあたっての考え方】

●旅行業等による売上額

ＤＭＯによる滞在型旅行商品販売等の活動を核として、旅行会社等に対する「タイアップ旅行商品」など、地域資源を十分に活用した魅力ある商品を造成し、コンテンツの磨き上げをしながら、地域経済の活性化を図るものであり、旅行業等による売上額を計測することで、間接的に地域経済に及ぼした影響を把握できるため。

独自の集計方法で算出し、毎月の売上額を集計している。

●旅行商品催行数

販売した滞在型旅行商品販売等のうち、参加者が集まり催行できた件数を計測することで、観光客数の増加を把握できるため。また催行できなかった旅行商品については、さらにブラッシュアップして催行できるような魅力ある旅行商品に仕上げていくことができる。

独自の集計方法で算出。

●旅行商品等で宿泊を伴う旅行をした人数

観光客が地域に落とすお金を増やす（消費額の増大）ため、滞在時間の長い宿泊客を増やす必要があり、宿泊を伴う旅行商品への参加者数やＤＭＯが依頼を受けて宿泊先を手配した人数などを計測することで、宿泊客の増加を把握できるため。

独自の集計方法で算出。

●会員数

ＤＭＯの会員として、地域の旅館や商店などの民間事業者等も想定しており、会員が増えることで、ＤＭＯのミッション、ビジョンについて共有して事業を進めることができ、さらに地域の受入体制の充実を把握することができるため。また、旅行商品の参加者やお土産品などを購入していただいた方にアルカディア観光局のファンになって会員になってもらうことも計画しており、リピーター等の増加を把握することができるため。

７．活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後３年間について、計画年度毎に（１）収入、（２）支出を記入すること。
※現に活動している法人にあっては、過去３年間の実績も記入すること。

（１）収入

年（年度）	総収入（円）	内訳（具体的に記入すること）
2022（Ｒ４）年度	142,446,361（円）	【市町村からの補助金（交付金）】87,979,389 円 【市町村からの補助金】14,991,690 円 【収益事業】36,475,533 円 【会費】685,000 円 【雑収入】2,314,749 円
2023（Ｒ５）年度	137,795,000（円）	【市町村からの補助金（交付金）】82,229,000 円 【市町村からの補助金】22,115,000 円 【収益事業】26,551,000 円 【会費】680,0000 円 【雑収入】6,220,000 円

2024（Ｒ６） 年度	93,444,522（円）	【市町村からの補助金】56,771,410 円 （委託事業を含む） 【収益事業】34,925,122 円 【会費】705,000 円 【雑収入】1,042,990 円
2025（Ｒ７） 年度	136,270,000（円）	【市町村からの補助金】99,159,000 円 （委託事業を含む） 【収益事業】36,400,000 円 【会費】710,000 円 【雑収入】1,000 円
2026（Ｒ８） 年度	136,270,000（円）	【市町村からの補助金】99,159,000 円 （委託事業を含む） 【収益事業】36,400,000 円 【会費】710,000 円 【雑収入】1,000 円
2027（Ｒ９） 年度	136,270,000（円）	【市町村からの補助金】99,159,000 円 （委託事業を含む） 【収益事業】36,400,000 円 【会費】710,000 円 【雑収入】1,000 円

（２）支出

年（年度）	総支出	内訳（具体的に記入すること）
2022（Ｒ４） 年度	140,453,338（円）	【一般管理費】12,481,079 円 【DMO 運営人材育成事業】42,043,570 円 【情報発信・プロモーション】18,044,093 円 【受入環境整備等の着地整備】22,997,229 円 【コンテンツ開発（観光資源の磨き上げ）】8,975,391 円 【マーケティング等】3,857,000 円 【収益事業等】32,054,976 円
2023（Ｒ５） 年度	142,430,123（円）	【一般管理費】12,652,885 円 【DMO 運営人材育成事業】48,850,039 円 【情報発信・プロモーション】17,234,122 円 【受入環境整備等の着地整備】21,067,183 円 【コンテンツ開発（観光資源の磨き上げ）】15,687,888 円 【マーケティング等】1,766,600 円 【収益事業等】25,171,406 円
2024（Ｒ６） 年度	90,690,497（円）	【一般管理費】10,398,323 円 【DMO 運営人件費】40,588,286 円 【情報発信・プロモーション】283,494 円 【受入環境整備等の着地整備】9,059,090 円 【コンテンツ開発（観光資源の磨き上げ）】438,835 円 【マーケティング等】592,200 円 【収益事業等】29,330,269 円
2025（Ｒ７） 年度	136,270,000（円）	【一般管理費】8,665,000 円 【DMO 運営人件費】43,243,000 円 【情報発信・プロモーション】7,420,000 円 【受入環境整備等の着地整備】33,625,000 円 【観光資源の磨き上げ）】11,542,000 円 【マーケティング等】1,195,000 円

		【収益事業等】30,580,000 円
2026（Ｒ８）年度	136,270,000（円）	【一般管理費】8,665,000 円 【DMO 運営人件費】43,243,000 円 【情報発信・プロモーション】7,420,000 円 【受入環境整備等の着地整備】33,625,000 円 【観光資源の磨き上げ）】11,542,000 円 【マーケティング等】1,195,000 円 【収益事業等】30,580,000 円
2027（Ｒ９）年度	136,270,000（円）	【一般管理費】8,665,000 円 【DMO 運営人件費】43,243,000 円 【情報発信・プロモーション】7,420,000 円 【受入環境整備等の着地整備】33,625,000 円 【観光資源の磨き上げ）】11,542,000 円 【マーケティング等】1,195,000 円 【収益事業等】30,580,000 円

（３）自律的･継続的な活動に向けた運営資金確保の取組･方針

・当法人は令和元年度より、第２種旅行業を取得し、主にターゲット層に響く着地型旅行商品の企画（オンラインツアー含む）を造成し、ポータルサイト EC サイトを活用して、旅行者に直接販売することで収益を確保する。また、旅行会社やバス会社などに営業活動を行い、ランドオペレーター業務の拡大を図り、受注、手配旅行などを取り扱うことで収益を上げる。
・インバウンド誘客のために、台湾を中心とした旅行業者等に営業活動を行い、実際に外国人観光客に訪れてもらえる日まで、受入体制の整備を行い、地域の伝統文化を体感できる旅行商品のブラッシュアップを図り、収益増につなげていく。
・一年中楽しめる体験型アクティビティに力を注ぎ、SUP、水上自転車、水陸両用バス、遊覧船、雪板体験、スノーシュー体験、テントサウナなどを提供・販売し、収益を上げる。
・当法人が開発したオリジナルのお土産品（アルカディアはちみつ、アルカディア手ぬぐい）やモンベルオリジナル商品等の販売により販売収入を得る。
・DMO としての事業展開や役割について認識してもらい、より多くの方に当法人の会員になってもらうことで、会費収入の増を図っていく。
・野川まなび館の管理運営を長井市から受託し、今後、長井ダム周辺、近隣市町を含めたアクティビティの拠点施設として、お土産品等の販売を行いながら施設活用をしていけるよう行政と検討を進めている。
・DMO としての運営安定のためのエリア内市町からの支援、国等からの事業費支援を受けられるよう、定期的な行政との打合せを継続していく。

８．観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

山形県長井市・南陽市・白鷹町・飯豊町・小国町は、（一社）やまがたアルカディア観光局を観光地域づくりプラットフォームの組織である当地域における「登録 DMO（地域連携 DMO）」として登録したいので、（一社）やまがたアルカディア観光局とともに申請します。

９．マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携ＤＭＯ（県単位以外）や地域ＤＭＯと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

※重複しておりません。

１０．記入担当者連絡先

担当者氏名	平吹　美奈
担当部署名（役職）	一般社団法人やまがたアルカディア観光局（事務局長）
郵便番号	９９３－０００３
所在地	山形県長井市東町２番５０号
電話番号（直通）	０２３８－８８－１８３１
ＦＡＸ番号	０２３８－８８－１８１２
Ｅ－ｍａｉｌ	info@arcadia-kanko.jp

１１．関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県･市町村名	山形県長井市
担当者氏名	木村　真由美
担当部署名（役職）	観光文化交流課（観光文化交流主査）
郵便番号	９９３－８６０１
所在地	山形県長井市栄町１番１号
電話番号（直通）	０２３８－８２－８０１７
ＦＡＸ番号	０２３８－８７－３３６９
Ｅ－ｍａｉｌ	kankobunka@city.nagai.yamagata.jp

都道府県･市町村名	山形県南陽市
担当者氏名	近野　秀樹
担当部署名（役職）	商工観光課（観光ブランド係長）
郵便番号	９９９－２２９２
所在地	山形県南陽市三間通４３６番地の１
電話番号（直通）	０２３８－４０－８２９５
ＦＡＸ番号	０２３８－４０－３４２２
Ｅ－ｍａｉｌ	syoko2@city.nanyo.yamagata.jp

都道府県･市町村名	山形県白鷹町
担当者氏名	今野　友博
担当部署名（役職）	商工観光課（課長補佐兼観光交流係長）
郵便番号	９９２－０８９２
所在地	山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥甲８３３
電話番号（直通）	０２３８－８５－６１２６
ＦＡＸ番号	０２３８－８５－２１２８
Ｅ－ｍａｉｌ	t-konno@so.town.shirataka.yamagata.jp

都道府県･市町村名	山形県飯豊町

担当者氏名	渡部　賢一
担当部署名（役職）	商工観光課（観光交流室長）
郵便番号	９９９-０６９６
所在地	山形県西置賜郡飯豊町大字椿２８８８番地
電話番号（直通）	０２３８－８７－０５２３
ＦＡＸ番号	０２３８－７２－３８２７
Ｅ－ｍａｉｌ	watanabe392@town.iide.yamagata.jp

都道府県･市町村名	山形県小国町
担当者氏名	渡部　智也
担当部署名（役職）	産業振興課（白い森ブランド戦略担当係長）
郵便番号	９９９－１３６３
所在地	山形県西置賜郡小国町大字小国小坂町二丁目７０番地
電話番号（直通）	０２３８－６２－２４１６
ＦＡＸ番号	０２３８－６２－５４６４
Ｅ－ｍａｉｌ	tomoya-w@town.oguni.yamagata.jp

（登録）【「地域連携DMO」】 一般社団法人やまがたアルカディア観光局

様式２

記入日： 令和7年7月10日

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】
山形県　長井市、南陽市、白鷹町、飯豊町、小国町
【設立時期】平成31年2月12日
【設立経緯】
①区域に観光協会があるが、役割分担等をした上でDMO新設
【代表者】 理事長　内谷　重治
【マーケティング責任者（CMO）】 副理事長　鷲見　孝
【財務責任者（CFO）】 事務局長　平吹 美奈
【職員数】 １３人（常勤１２人（正職員６人・出向等４人・地域おこし協力隊２人）、非常勤１人）
【主な収入】
収益事業34百万円、補助金等56百万円（令和6度決算）
【総支出】
事業費　136百万円、 一般管理費8百万円（令和6年度決算）
【連携する主な事業者】
対象とする区域5市町の行政、観光協会、宿泊施設（温泉旅館協同組合、物産施設、観光関連団体、観光事業者等

KPI（実績・目標）

※（ ）内は外国人に関するもの。

項目		2022（R4）年度	2023（R5）年度	2024（R6）年度	2025（R7）年度	2026（R8）年度	2027（R9）年度
旅行消費額（百万円）	目標	73,477（7,347）	75,240（9,287）	77,045（9,509）	79,510（9,813）	80,305（9,877）	81,108（10,138）
	実績	63,471（ ）	72,304（ ）	73,047（ ）	—	—	—
延べ宿泊者数（千人）	目標	169.3（1,6）	172.0（5,1）	175.8（7,0）	181.0（8,4）	182.8（8,5）	184.6（8,6）
	実績	148,0（ ）	150,6（1,4）	150,6（2,1）	—	—	—
来訪者満足度（%）	目標	27（27）	28（28）	29（29）	30（30）	43（31）	44（32）
	実績	37.7（ ）	42.5（ ）	41.7（ ）	—	—	—
リピーター率（%）	目標	65（65）	66（66）	67（67）	68（68）	69（69）	70（70）
	実績	68.8（ ）	66.9（ ）	67.3（ ）	—	—	—

戦略

【主なターゲット】
有名な観光地はもう行き尽くし、田舎で地域の人と触れ合い、地域文化への探求心があり、第2の故郷として再び訪れてくれる大人の女性
【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
来訪者満足度調査をもとにマーケティング調査を実施。着地型旅行のアンケートを収集、分析をしブラッシュアップを図る。
【観光地域づくりのコンセプト】
ブランドコンセプトとして「やまがたアルカディア～新たな自分に出逢える郷山」とし、ミッションを「東洋のアルカディアを子どもたちへ」、ビジョンを「日本最強のローカル」として観光地域づくりを推進している。

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】
・着地型旅行商品の企画造成、実施
・長井ダム百秋湖周辺のアクティビティ体験の充実と整備
・オリジナルお土産品の企画販売
・関係人口の創出事業

【受入環境整備】
・観光外国語通訳の形成
・ローカル鉄道を活用した各種事業
・越境学習プログラムの実施

【情報発信・プロモーション】
・SNS（Face book、Instagram、LINE,YouTubeの運用
・インバウンド向けプロモーション
・季刊誌の発行

【その他】
・シンポジウムの開催
・各種コンペティションの受賞
・隔月の戦略会議の開催と他の観光団体との連携